お母さん、ただいま!

おおあらい
第61号
発行所
大洗町役場
発行人
加藤清
印刷所
新いばらき印刷局
TEL水戸(21)5191(代)

よい子が育つ明るい家庭

大きな　おみやげ

水都一平（みなといっぺい）

昭和四十七年九月二十七日
海に沿う　狭い大洗町が
オリンピックの感激の朝を迎えた
昨日見た　オリンピックの
熱っぽい画面が
今日　この町に再現した
身長　一七八糎体重　八〇瓩の
小さな巨人が
力の限りの苦しみと執念とで
しっかりと手にした金メダルが
西ドイツ　ミュンヘンから
青い地球を　ぐるっと廻って
遙々　今この故里に届けられた
「お母さん　只今」
高くかかげた右手とゆるんだ頬が
それを告げる
「町民の皆さん　ありがとう」
「お母さん　ありがとう」
太いがっしりした掌が
何度も何度も振られる
大洗のひとりの青年が
こゝに世界の若者として立っている
金メダルを胸に
堂々とそそり立っている
おごりもてらいもなく
晴れやかに立っている
ちっぽけな大洗町が
地球儀の上に一点を投じ
町中の若者が心から本当に
世界を知った日
たたえる拍手が
打振る日の丸の小旗が
はっきりと素手で
メダリスト関根君と共に
世界をとらえた
このおみやげは大きい
「改めて　ありがとう」
「改めて　ご苦労様でした。」

関根　忍　五段　略歴

昭和18年9月20日大洗町磯浜町に生まれる。31年磯浜小学校を卒業後、大洗一中、那珂湊一高、中央大学に進学、その間各学校の主力選手として活躍。全日本選手権出場3回、41年アジア選手権中量級優勝、昨年の第7回世界選手権大会（西ドイツ）無差別級で3位に入賞。47年度全日本柔道選手権大会で優勝し天皇杯を獲得。ミュンヘン・オリンピックには中量級で出場し見事、金メダリストの栄冠を獲得した。

拍手に応える関根五段（南中学校で）

日の丸の小旗をふって（滝口保育園で）

投資事業40%を超す

昭和46年度　一般会計決算状況

昭和46年度各種会計決算は去る9月下旬開催の町議会第5回定例会に上提され、議会の認定をうけましたがそのあらましは次のとおりです。一般会計の歳入決算額は八四八、三七八、七一一円、歳出決算額は八二七、八三三、八七二円で差引実質収支額は一〇、五四五、八三九円となっています。これを前年度と比較すると、歳入が収入済額八四八、三七八、七一一円で昨年度より一一八、一二六、七六七円の増となり、人口一人当りの額は三八、三七八円で前年度より五、三六八円の増となっています。歳出は歳出済額八三七、八三三、八七二円で昨年度より一二八、〇三八、七二一円の増となり、人口一人当りの額は三七、九〇一円で前年度に比較して五、八一六円の増となっています。また歳入決算額について自主財源、依存財源の構成比率をみると自主財源は五〇、六%で前年度四六、五%に対して四、一%の増率を示しています。依存財源については本年度の四九、四%に対して前年度は五三、五%で七%の低下となっています。これは傾向としてみるならば好ましいことであるといえるでしょう。

歳入

（　）は予算額

◎歳入八四八、三七八、七一一円
（予算額に対する割合）
九九、二%

◎歳出八三七、八三三、八七二円
（予算額に対する割合）
九七、九%

◎差引実質収支額　一〇、五四五、八三九円

町税　二五四、二三七、三三九円
（二四八、一八、〇〇〇円）
一〇二%

自主財源の町税とは皆さんに納めていただく各種の税金で歳入総額の30%を占める大きなものですその主なものは町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ消費税、電気ガス税などです。

自動車取得税交付金
四、四八八、〇〇〇円
（四、三〇〇、〇〇〇円）
一〇四%

これは皆さんが自動車を購入されたときに納められる税金で町の面積や道路の延長から按分されて交付されるものです。

地方交付税
二三一、九八〇、〇〇〇円
（二三一、九七五、〇〇〇円）
一〇〇%

これは各市町村の財政のつりあいをはかり、行政が円滑に行なえるように国から国税の一部が町に交付されるものです。町税とは特に関連があり、歳入総額の二六、二%を占める大きな財源ですが需要額に対する収入額の伸びにより交付額の伸びは少なくなっています。

交通安全対策特別交付金
一、三五八、〇〇〇円
（一、三五八、〇〇〇円）
一〇〇%

これは交通事故を未然に防ぐために街路灯やカーブミラー等の事故防止施設を整備しなければなりませんがそのための経費として交付されるもので前年度より五四七、〇〇〇円が増額され交付されました。

分担金及び負担金
一六、三〇六、三七〇円
（一八、七四四、〇〇〇円）
八七%

これは保育所にはいっている子どもの保護者が町に支払うお金や、町が行なう工事でこれによって一部の人が受益する場合にその人達から工事費の一部を負担していただくものです。

使用料及び手数料
一五、一五四、四六二円
（一四、二九八、〇〇〇円）
一〇六%

これは町営住宅の使用料や大洗港埠頭用地使用料のほか戸籍、印鑑証明、各種予防接種、ごみ収集などの手数料などが主なるものです。

国庫支出金
七四、七四〇、二〇九円
（七五、三七一、〇〇〇円）
九九%

教育や児童福祉事業などに対する国の負担金や庁舎防音工事、町営住宅建設工事、交通安全施設整備事業などに対する国の補助金、あるいは国民年金事務などの委託金が主なるものとなっています。

県支出金
一九、四六八、〇一八円
二〇、一九四、〇〇〇円
九六%

福祉事業に対する県の負担金や農林、水産業等の振興に対する補助金が主なるものです。

財産収入
八〇、九九三、一三八円
八一、〇二一、〇〇〇円
一〇〇%

これは財産運用収入、財産売払収入等でその主なるものはゴルフ場敷貸付料や各種基金利子、また土地売払収入では前原地内国道バイパス線用地売却費、勘十堀埋立地払下売却などです。

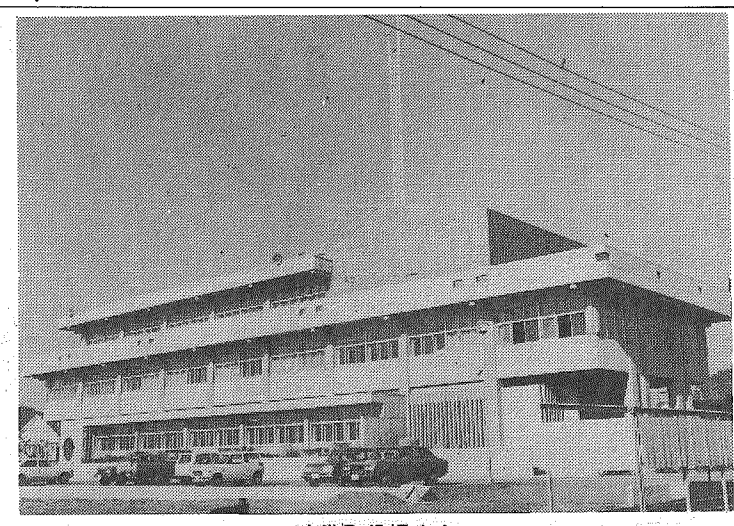
町債
八六、四〇〇、〇〇〇円
（八六、四〇〇、〇〇〇円）
一〇〇%

これは町の諸事業を行なうために大蔵省などの諸機関から借り受ける資金です。

みなさんも御承知のとおり、昭和46年度中頃よりドルショックの影響で日本経済は落ち込み、国ではこれに対応するため景気浮揚対策として公債を発行し一般公共事業の促進を図りました。年度後半にはこの公債を財源とする公共事業の追加工事が行なわれ、本町でも港湾建設事業や都市計画街路建設事業等の追加があり、これらは総て起債で充当されたため本年度の起債の額は前年度に比較して大きな伸びをみました。

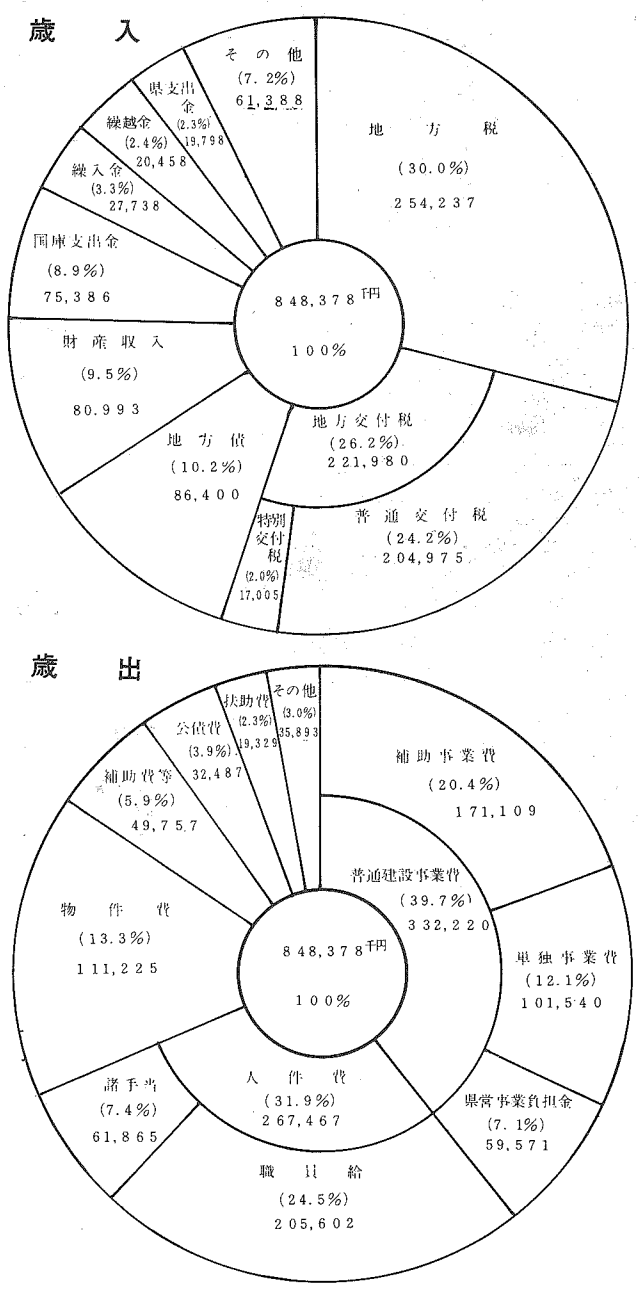
娯楽施設利用税交付金
八、八九二、八六六円
（一〇、〇〇〇、〇〇〇円）
八九%

これはゴルフ場を利用する人から徴収される税の、町に対する交付金ですがその交付率は従来1/2でしたが本年7月から1/3に改められ、対前年度で三、七九二、〇〇〇円の増になっています。


大洗町役場庁舎

環境を誇る祝町幼稚園

昭和46年度　歳入歳出性質別占拠率の状況



歳出

人権費
二六七、四六七、〇〇〇円

これは職員の給与の他、議会議員及び各種の委員等の報酬が主なるものです。

扶助費
一九、三二九、〇〇〇円

これは保育所の児童措置及び学校児童要保護、準要保護等の経費が主なるものです。

公債費
三二、四八七、〇〇〇円

これは皆さんに利用いただく各種施設整備のために借り受けた資金の償還金です。

物件費
一一一、二二五、〇〇〇円

この経費は行政を行なう上に必要な庁用の一般経費の他教材資材等が主なるものです。

維持補修費
四、〇五六、〇〇〇円

この経費は町有財産の修理及び簡単に補修できる道路及び測溝等にあてる経費です。

補助費等
四九、七五七、〇〇〇円

この経費は法により徴収される負担金及び交付金の他団体等に対して補助するもの、あるいは他市町で高校建設等が行なわれ本町からの通学者がある場合にはその生徒数などにより寄附金を納めますがこれらが主なものです。

積立金
九、二三三、〇〇〇円

これは現在無線放送施設がありますがこれを更新する場合に大きな資金が必要となりますのでその積立と町民運動公園を建設するための準備資金の積立、それに財政調整基金などが主なるものです。

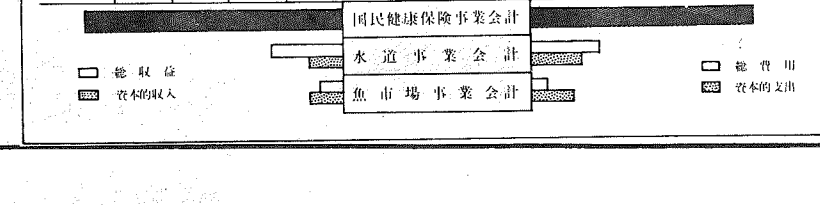
投資及び出資金
四、四一一、〇〇〇円

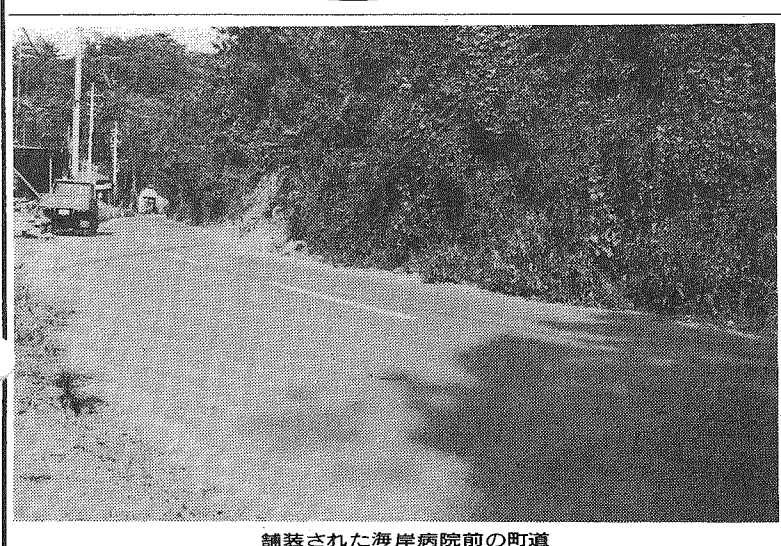
この経費は水道事業に対するものが主なものとなっています。

本町の水道事業はその配水量において、夏季ピーク時とそれを除く平常時の差が非常に大きいという特殊性をもっています。このため夏季ピーク時にみあった設備投資を行ない給水能力の確保にあたらなければなりませんがそれらの投資に対する出資がこれです。

普通建設事業
三三八、八六八、〇〇〇円

この経費は各種施設の整備充実のためのものでその主なものは庁舎建設、町営住宅建設、町立祝町幼稚園建設、道路及び排水溝の整備、無線放送施設建設、製氷貯氷庫建設、東光台園地整備、海水浴場関係などの諸事業で全歳出の四〇、五%を占めるものです。




舗装された海岸病院前の町道

教育長に後藤文氏再任
教育委員長には深作清氏

昭和四十七年九月三十日で任期満了となった大洗町教育委員後藤文氏、関昭一郎氏は去る九月二十一日の定例議会において満場一致の同意により両氏共再任されました尚去る九月二十七日の教育委員会で、教育長には後藤文氏が再任され教育委員長には深作清氏が就任いたしました。

県知事より

斉藤マサさん表彰

重症の障害を克服、立派に更生

表彰を受けた斉藤さん

九月二十七日第二十二回茨城県社会福祉大会が県民文化センターに於て行われ、その席上、身体障害自立更生者として、斉藤マサさん（三十五歳、磯浜町一〇八二番地、あみもの教師）が車椅子で出席され県知事より表彰を受けました。

表彰文

あなたは身体の不自由にもかかわらずよくそれを克服し更生の実をあげられ広く他に範を示されましたので茨城県社会福祉大会にあたり記念品を贈り表彰します。

茨城県知事　岩上二郎

斉藤さんは幼少の時小児麻痺に冒され両下肢機能障害という重症にもめげず施設へ入所し、自立更生のため涙ぐましい訓練と努力をされ、昭和四十二年から、あみもの教師として自活し現在では二十余人の生徒をもち立派に社会の一員として活躍されておる方です。

町には身体障害の方は三五〇人おりこの方々の強いはげみになることと思います。

町長を囲んで青年たちは語る

自分達の住む地域社会をより明るく、より住み良くするために活動するには先ず町の現況や将来の展望等、町の行政施策を良く理解する必要があるということで、大洗町青年団では去る9月29日夜、町政懇談会を開催しました。会場の曲松公民館には昼間の勤労の疲れもみせずに二十数名の男女団員が集まり、町長を囲んで大洗港の将来、都市計画、国鉄鹿島線、諸産業の振興、公害、若人のための諸施策、原子力施設等、現在の町にとっても最も重要な諸問題について、秋の夜の更けるのも忘れ、熱心な話し合いが続けられました。

修了後、青年団幹部はこれからも町政に関する懇談会や、団独自の話し合いを行ない更にできれば〝一日青年議会〟等を催し、勉強を続けて行きたいと熱っぽく話していました。

敬老のひととき

民謡と踊りを楽しむ

長寿を祝う恒例の敬老会を去る九月十五日大洗茨交ビーチパレスに於て、七〇歳以上の方一、二八〇人を招待し盛大に挙行しました。開会の十時には会場は超満員の盛況となり、式は主催者加藤町長からお祝の言葉と町の老人福祉施策について話しがあり、続いて、敬老者代表に記念品（町より「はきもの」、小幡県議より「足袋」、若い芽の会より「孫の手」）が贈られました。また、八十歳以上の方二六〇名には、町と県の敬老祝金と交通災害共済証書が贈られました。次に来賓祝辞が述べられ式はとどこおりなく修了しました。

十時半より演芸に入り、最初に目出度い席で行う海老三神楽獅子舞があり、次によくお待ちかねの「水戸祐二民謡ショー」が歌と踊りで舞台狭しと豪華に繰広げられ皆さんはしばし時を忘れ楽しまれました。正午からは「敬老のど自慢大会」が開かれ、おじいさん、おばあさん元気な方々が自慢ののどを披露し午後二時閉会いたしました。

大洗町の最高齢者は次のとおりです。

山形たきさん　九七歳　永町
江澤はつさん　九六歳　髭釜町
橋本惣太郎さん九五歳　寺釜町

敬老会に寄附をいただいた小幡県議、並び若い芽の会の方々、また案内接待にあたられた磯浜、大貫、夏海の婦人会皆様、交通安全母の会の皆様に厚くお礼申しあげます。

ひとときを楽しむ高齢者

町長杯を獲得

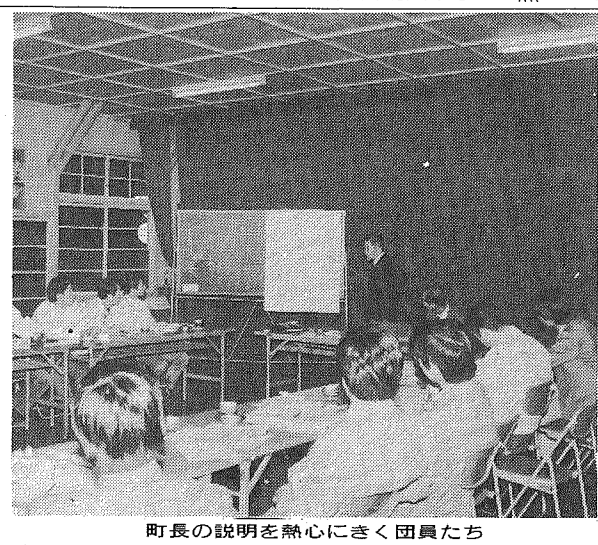
「大洗フェニックス」チーム

第14回大洗町長杯争奪野球大会は町体育協会長杯も兼ね、去る10月1日から4日間の休日を利用して、一中、南中、原研、動燃の各グランドで開催されました。参加チームは町内各職場の19チームで一試合毎に熱戦が繰りひろげられ、最終日の10日は「体育の日」にふさわしく晴天に恵まれ、深い秋の青空の下で準決勝、決勝の3試合が行なわれました。決勝戦は大洗フェニックスチームとイーグルスチームの間で争われ、両チームとも一歩も譲らず、シーソーゲームが展開され、終盤打撃に勝った大洗フェニックスチームが8対5で見事初優勝を飾り町長杯を獲得しました。なお個人賞と対戦成績は次のとおりです。

最高殊勲選手賞
松井昭太郎選手（大洗フェニックス）

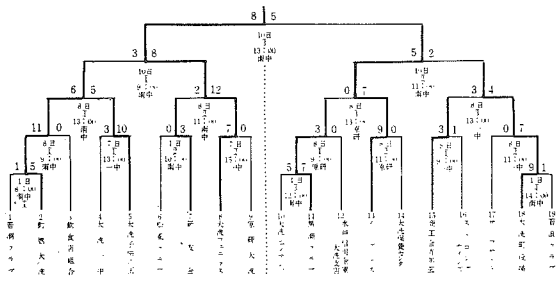
打撃賞
木村和幸選手（大洗フェニックス）

敢闘賞
鬼沢　勲選手（イーグルス）



町長の説明を熱心にきく団員たち

第14回　大洗町長杯争奪野球大会　組合せ表



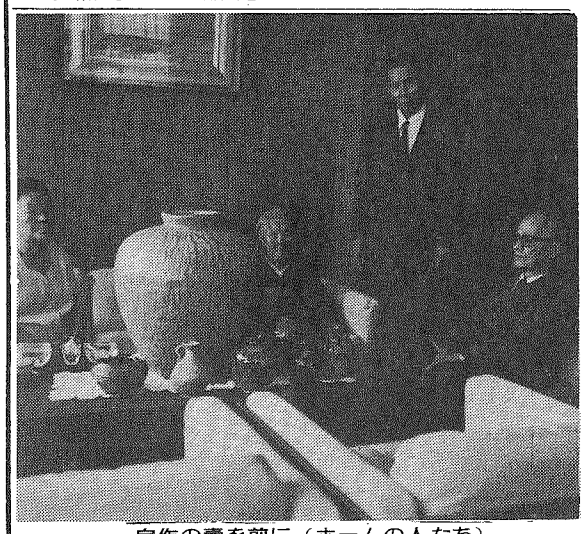
老人ホームからいただく

自作の壺、花びん

水戸市東原町、社会福祉法人養護老人ホーム愛友園（園長山口普）の皆さんが去る九月二十一日町役場へおいで下さり、寄附のお礼として自分達の手で作った立派な壺、花びん、灰皿、約三十点を寄贈されました。早速、町長室、各課の机上に色彩豊かで素朴な感じの品々を飾り利用させていただきました。

愛友園では、山口園長の指導でこもりがちな老人の園生活にはりあいをもたせ、また自分達も社会の一員であるという自覚をうながすために、数年前から焼きものの趣味普及を実践してきました。今では園内に窯場を設置、毎日老人が焼きものにいそしみ土の選定、形造り、素焼、仕上まで一連した作業ができ水戸市民美術展に出品する立派な作品を生み出すようになりました。

同園には大洗町から十名入園しており、前回の町報で紹介した魚忠さんの善意のこもった贈りものをしたところです。



自作の壺を前に（ホームの人たち）

民生委員三十五名に

福祉活動更に充実

去る八月一日民生委員定数の改正により従来三十名だった民生委員が三十五名に（磯浜24、大貫6、夏海5）となり、地域住民のため更にきめこまかな福祉活動ができるようになりました。生活困難、医療費問題、児童、母子、身体障害、精神薄弱、更生資金貸付などの問題で困り事がありましたらご遠慮なく民生委員に相談して下さい。

民生委員氏名　担当区域は次のとおりです。

民生委員児童委員名簿
昭和47.8.1現在

○磯浜地区

吉川賢一郎　電　二〇〇五
明神町一、二、三の上、三の下

小神野治子　電　四〇八四
明神町四、五、六

小沼吉夫　電　二三〇四
明神町七、八の二、九、十

岡安政次　電　五一二二
明神町十一の一、十一の二、新町六

柴田保子　電　五〇三七
一丁目一～五、汐見ヶ丘住宅

吉成イチ　電　二三一〇
二丁目全区

小松崎さた　電　二七六六
仲町全区

志鳥融光　電　二二七四
金沢町全区

坂本信　電　二三四九
通町全区、新町一の一、七

茂木久枝　電　三九一八
新町一の二、二の一、二の二

大森茂男　電　二四六一
新町三の一、三の二、四、八

小野崎総一　電　四五四七
祝町一、松ヶ丘一、二

梶尾馨　電　二九六三
祝町二、三、四、五

久保田敏夫　電　二六二三
永町一、二、七、八

前島友三　電　三七五〇
永町三、四、五、六

永井なが　電　二〇六三
永町九、十、十一

和田長一郎　電　二四一四
永町十二、十三

岡田信次　電　二六四三
永町十四、髭釜町十の二

関根敬　電　四五八九
永町十五の一、十五の二

川崎久恵　電　二五〇三
永町十六の一、十六の二、十六の三

関市郎　電　三〇一三
髭釜町一、三、四

坂場静子　電　三七六一
髭釜町一、五の一部、六、七

吉本清輝　電　三六七三
髭釜町八、九、十の一

伊沢弘　電　二五〇八
髭釜町十一の一、十一の二、五の一部

○大貫地区

井川英之　電　二九四七
寺釜国道境にして海岸側

小沼ふち　電　五二二五
寺釜国道境にして西側

岩瀬寅次郎　電　三三〇七
蔵前全区、舟渡全区

荻沼政太郎　電　二五二四
上宿全区、仲宿全区

菅谷勇　電　五四四八
南清水全区、北清水全区

小野瀬金太郎　電　二八一六
角一全区、前原住宅、原研住宅

○夏海地区

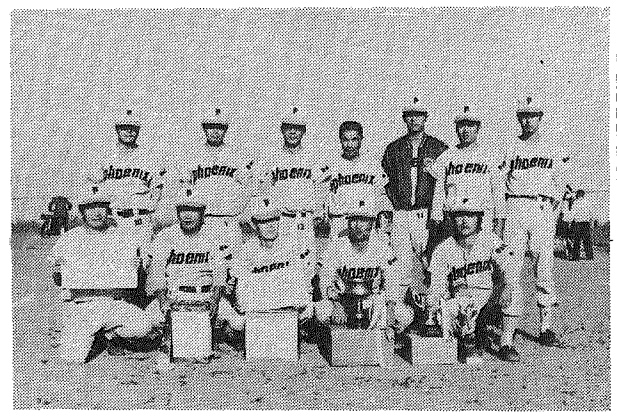
大谷清蔵　電　四四七二
成田、共励、第二、大谷川

田口左武郎　電　五五九四
中宿、下宿、矢場

大貫喜一郎　電　三八〇七
川口、神山

米川桑太郎　電　五〇六〇
報国、第一、中部、千拓

大貫きい　電　二六八九
古宿、上宿、荒谷、浜欠



喜びの大洗フェニックスチーム

国保だより

「交通事故にあったら」

国民健康保険で診療を受けるときは、届出をして下さい。

交通事故でけがをしたとき、警察へ届出をすることはもちろん、病医院の窓口と役場国保係へ連絡して下さい。そして『第三者の行為による傷害届』をしなければなりません。国民健康保険を使ったときは、加害者が支払はなければならない医療費を国保が代って支給することになり、したがって加害者に立替えて支払った損害金（医療費）についての自動車損害賠償保険請求等の権利は、国保が被害者にかわって取得することになります。

事故で医師の診療を受けるとき、窓口で「保険ではかかれません」といわれる場合があります。交通事故の医療費は当然加害者が支払うもの（自賠法があるから）という考えからです。加害者と被害者が充分話し合って解決出来れば、国保と関係なく医師の診療を受けることが一番望ましくまたそれが原則です。

被保険者証を提示できないときは

緊急のとき、保険証を持っていなかったときは、国保係に連絡を取り確認してもらい、あとで保険証を医師の窓口へ出来るだけ早く提出して下さい。

届出前に示談しないこと

示談は、被害者、加害者の間で話し合って解決することをいいます。被害者が国保を使ったときは示談前に役場国保係に相談して下さい。相談なく示談した場合は、被害者が不利益を受ける場合がありますので御注意下さい。

異動の届出は早く

転出入、出生、死亡、社会保険加入、離脱など異動がありましたら保険証と印鑑を持参の上役場の窓口に早急に届出をして下さい。

なお、社会保険加入のときは社会保険の保険証を、離脱のときは、会社等の退職証明をあわせて御持参下さい。

妊娠届を提出するときは、医師又は助産婦の証明と、国保の保険証を必ず持参して下さい。

医療手当金の受領は指定日に

町では、老令者医療手当金、妊産婦医療手当金の支給を行なっておりますが、支給指定期日に受領されない方が多く事務処理上非常に困惑しております。支給通知書を確認し、支給指定期日には、同通知書と印鑑を持参の上、必ず受取って下さい。

「日曜日の急病のときは」

従来実施していた日曜日の夜十時から翌朝六時までの深夜診療は、都合により一時中止されることになりました。

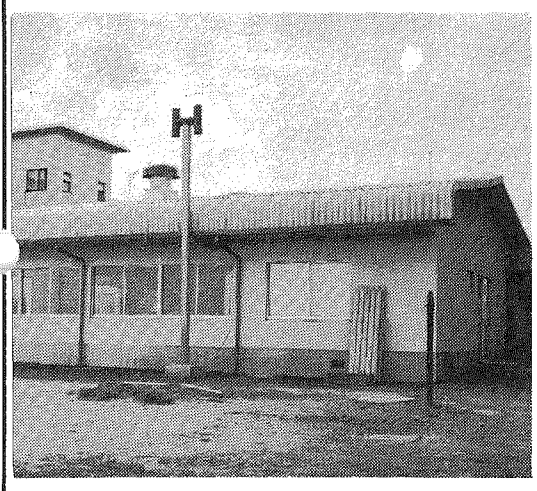
十月からは日曜日の夜、急病人が出た場合は、かかりつけの先生に連絡するか、又は大洗海岸病院へ行けば診療を受けられます。

農免道路実施測量すゝむ

農業の近代化は今日著しくすゝみ、これに対応するための農道の拡充整備が強く望まれています。

このため町では〝大貫字出口から神山部落、広浦干拓を従断して松川に至る〟幹線農道の整備計画を農林省に働きかけてきましたが幸いこれが認められ、農免道路として本年度を皮切りに三ヶ年の継続事業で、いよいよ建設されることになりました。この農免道路とは税金の一部を農漁村に還元することを目的に制度化された道路の整備事業で事業費の80%が国、県の補助金でまかなわれ、残りの20%を町で負担し、県営で行なわれる事業です。現在の道路状況は立地、利用度の面からも町の産業幹線路であるにもかゝわらず道路巾が非常にせまく農作業に、運搬に支障をきたしており、一日も早く完成されることが待ち望まれています。

南中学校給食室完成



南中学校給食室

学校給食の完全化を図るための給食室の改築工事が安藤建設の手によって進めてまいりましたが、このほど近代的な機能を備えて、完成いたしました。

竣工により、学校給食が充実され給食を通じて生徒の体位向上が達せられます。

工事の内容は左記の通りです。

鉄骨平家建　一〇〇平方米
調理室、配膳室、前室、食品庫
休憩室

総工事費　五、五九九千円
○建築工事　四、八〇〇千円
○附帯工事　二五九千円
○設備工事　五四〇千円

老人実態調査まとまる

ひとり暮し老人……一二八人
ねたきり老人……三一人

愛のブザー希望者全員に年内設置予定！

六月一日現在をもって民生委員が町内の六十歳以上の、ひとり暮し老人及びねたきり老人の実態調査を行ないその結果がまとまりました。

○ひとり暮し老人について

大洗町には「ひとり暮し老人」は百二十八人（男二十九人二三%女九十九人七八%）で町の六十歳以上の人口二千七百九十七人の四、六%にあたり、これは老人百人に対し約五人の割合であり県平均の二人（一、九%）に比べると二、五倍の実情です。また、年齢別にみると六十代が六十九人五四%、七〇代が三十四人二七%、八十代二十五人十九%で、七十歳以上の高齢者が約半数を示め、しかもひとり暮しの率が高くなってゆく実態であり、町の老人福祉行政の上で今後とくに留意すべきことだと思います。

○生活するための収入について

自分で働く四十九人三五%。仕送り三十五人二七%。年金恩給貯金等三十三人二六%。生活保護二十二人十二%となっています。また、高齢で病弱の為働けないと答えた人が四十七人ありました。

○ひとり暮しの理由について

子供がいない三十六人二七%子供の仕事の都合三十四人二七%気楽だから等二十五人二十%となっており、そのほか、家が狭い、家族との折合が悪い、自分の仕事の都合上など深刻な理由でやむなくひとりで寡している人もありました。

○健康について

じょうぶ四十四人三四%、普通四十人三一%、病弱四十一人三一%であり、病気の種類は、高血圧、神経痛、胃腸病、心臓病の順でした。

急病になった時の介護者は、親族七十三人五七%、近所の人四十人三一%、ない、十一人十二%であり、長期療養となると約半数の人が身内の介護者が無く困窮する実情です。

○日常生活について

食事の回数は、一日三回たべる九十八人、二回二十四人、一回一人となっており、全員が自分で作って食事しています。

入浴回数は、毎日と一日おきが九十人で、また、自宅の風呂と公衆浴場を利用する人は約半数でした。

住居は、自分の持家が七十八人借家、間借が五十人でした。

○老人クラブの加入状況

加入している二十八人二二%加入していない人一〇〇人七八%となっており地域の老人クラブは特に善処しなければなりません。

○余暇のすごし方

テレビ、ラジオ等六十一人、近所でお茶のみ六十三人の二つにわかれ、その他散歩、手芸、読書などがありました。

○家庭奉仕員派遣について

家庭奉仕員の訪問を受けている方四人、受けたい一人で大部分の人が奉仕員派遣を希望しませんでした。その主な理由は、日常生活に支障なし、手助けをしてくれる人がいるなどです。

○老人ホーム入所希望について

老人ホームへ入ることは、将来は考えたい七人、はいりたくない百二十一人で、この理由は、いま住んでいる処を離れたくない五十四人、自分の力で暮す、気楽だらなど六七人でした。

○日常生活でほしいもの

冷蔵庫、扇風機、電気コタツ、テレビ、電話など家庭電気製品を希望する人が七十三人おりました。

また、愛のブザー（救急の場合隣家への呼びリン）を希望する方三十三人、インターホン五人あり町では希望者全員に対し年内には設置できるよう準備を進めることになりました。

○民生委員の意見として

このままの生活環境でよい、または、普通が九十五人（七〇%）、やや悪い十七人十五%、悪い十六人十五%で、うち老人ホームへ入所させた方がよいと思うが十人おりました。

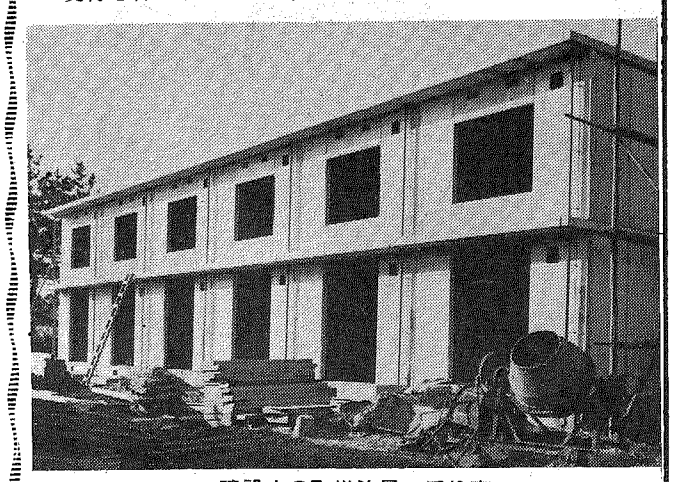
以上「ひとり暮し老人」の実態調査の結果であり、町ではこれを更に分析し老人福祉施策の充実につとめてまいります。

ねたきり老人三十一人については身近に親族で介護している方がおり平穏な暮しをされている様子であります。紙面の都合上次回の町報で報告いたします。

今回の調査にあたられました民生委員及び協力いただいた調査対象世帯の方々に厚くお礼申しあげます。今後とも老人福祉に対するご意見ご希望をおよせ下さるようお願い申しあげます。

町営汐見ヶ丘住宅
建築工事順調に進む……

町では住宅不足の問題に対処するため、年次計画をたてて建設にあたっていますが、目下47年度事業として汐見ヶ丘に11戸の町営住宅を建設しています。完成予定は12月中旬で年内入居を目標に11月には新規入居者の申込受付を行なう予定です。



建設中の町営汐見ヶ丘住宅

赤い羽根共同募金お願い
目標額五十六万円

全国一斉に十月一日から赤い羽根共同募金運動がはじまりました。町内会長はじめ町民皆様から暖かいご協力をいただい厚くお礼申しあげます。今年の目標額は、五六四、四〇〇円で昨年より七九、七〇〇円増額になっており、現在運動期間中ですからよろしくお願い申上げます。

集りました募金は、県共同募金会を通じ、民間社会福祉施設（老人ホーム、保育園、精薄児施設、養護施設等）へ配分することになっています。また、本年は特に、「ねたきり老人」のため、ふとん乾燥自動車二台を購入し県内を巡回無料サービスすることになりました。

皆様のご協力を切にお願い申あげます。

日赤募金御礼
目標を大きく達成

五月から実施しました日本赤十字募金については、町内会長、班長及び町民皆様のご理解あるご協力により、次の好成績を挙げることができました。

目標額　三九四、四〇〇円
達成額　六一三、七八五円
率　一五六%

（昭47・10・1現在）

今年から募金の領収が十年間記載できるカード式となり、今後は毎年このカードを整理保存します募金の合計額が日赤社員褒章規定にあてはまれば直ちに日赤本社へ上申し褒章が受けられるようにいたします。また、募金額三〇〇円以上の方には近日中に日赤社員章（門標アルミ製）を送付いたします。

なお、未整理の町内が若干ありますので早急に整理下さるようお願いします。

ここに日赤募金について報告かたがた厚くお礼申しあげます。

心身障害児判別委員会を設置

判別と就学指導を適正化

この委員会の仕事は、本町在住の幼児や児童生徒などで心身の障害により教育上特別な扱いを必要とする人達のために、その障害の程度に応じた教育が受けられるよう判別と就学指導あるいは就学困難な人の就学猶予、免除等の措置を行なうものです。

委員は専門医二名、学識経験者一名、学校側四名、関係行政機関側三名の計十名の方々です。

町営公園墓地を拡張

町では公園墓地の使用について町民のみなさん方のご要望にお応えするため、墓地の拡張計画をすすめてきましたがこの程その見通しがつきました。工事設計などについては目下検討中ですがおよそ次のとおりです。

○予定地　磯浜町字稲荷山六、〇七七番地
○区画の面積　六、五平方メートル（一、九六坪）
○使用料　五八、〇〇〇円

なお詳細については決定次第お知らせしますが、これについてのお問い合せなどは衛生課環境衛生係で取扱います。

学童期の精神衛生

心の健康を求めて（その四）

児童は乳幼児期に吸収した知識の欲求や感動の新鮮さを保ちながら、外からの刺戟に対しては敏感に反応し好き嫌いもはっきりしてきます。また、身近な人を支えに言葉の連発の中から知識をふやしてまいります。こういう生活から新しい集団の中に入り、家族以外の人達（先生友達）や学校環境との関係を持つようになります。

運動能力も思考能力も判断能力もしだいに増してくるだけに精神衛生の問題は新たな段階として考えなければなりません。学童期の心の健康を求めるには、教育との深いつながりの中で考えることです。そこで学校精神衛生の具体的な対策と活動が要請されるわけです。

また、この時期は、早期に発見し、適正な治療と指導が最も重要なことです。身体的な欠陥や環境の不調和、俗悪な環境による影響も重要なことです。不安定な悪い環境に耐え、うち勝つだけの精神鍛練や、ものごとをあきずになしとげる耐久力、また、お互の立場を理解し、調和しあえる心の養成も考えなければなりません。このように学童期の精神衛生対策は広い領域をもっております。これは、学校教育のみの問題とせず家庭と社会環境を含めて考えて行くことです。そこで学校精神